



大阪教育大学附属平野小学校

**未来の社会を創り出す子どもを育てる
概念ベースの探究カリキュラム開発**

2 年次

「未来探究科」と 各教科の関連を明確にする

未来探究科

1 実用的で学問的な 4 領域

2 各教科の学びを統合・横断

3 児童自らが意味や価値を見出す探究学習

1

実用的で学問的な 4 領域

A 領域



地域

B 領域



自然

C 領域



文化

D 領域



幸福



幸 福

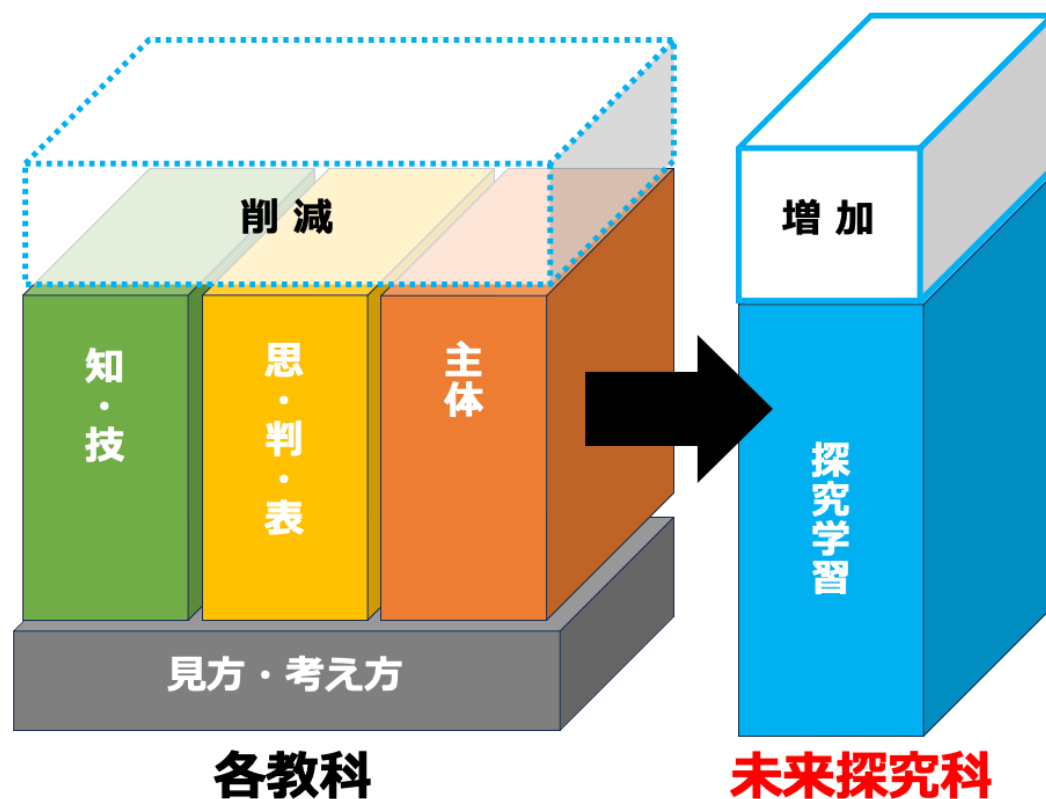
文 化

地 域

自 然

2

各教科の学びを統合・横断



年間時数

245～280

	月	火	水	木	金
1	音/体	算数	国語	国語	算数
2	算数	体育	国語	音楽	体育
	フリータイム				
3	図工	未来	算数	未来	国語
4	図/道	未来	書/と	未来	国語
	きゅうしょく				
	ひる休み				
モジュール -----	未来	学年・学級集会	未来	学級活動	未来
5	CT	国語	未来	算数	CT
6			未来		
			CT		

年間時数

245～280

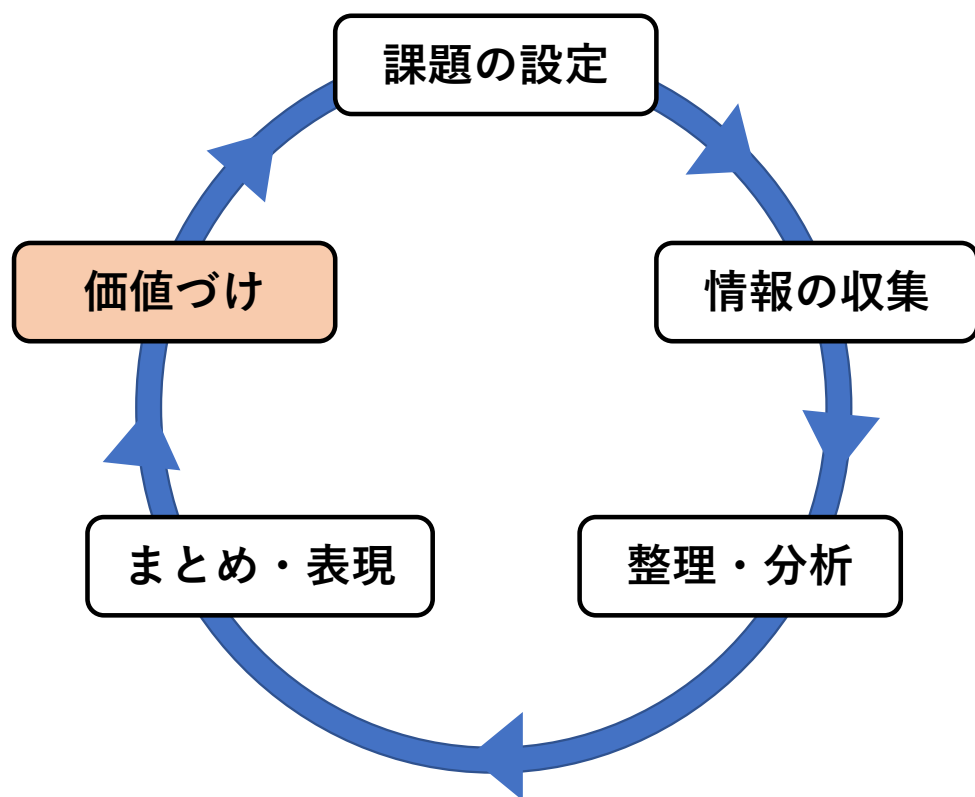
1 領域 70 時間

6～8 時間／週

[CT] 1 時間／週

3

児童自らが意味や価値を見出す探究学習



「価値づけの時間」

これまでの活動を中長期的にふりかえり、自分の生き方や考え方、社会での意味や価値について考える時間。

自身の成長を実感 ・ 行動の変容

価値づけの時間

(4:とてもできた 3:まあできた 2:少しできた 1:あまりできなかった)

	項目	自己評価
探究に向かう力	1. 「附小お笑いフェスタ」に向けて、一生けん命に練習できた。 【一人で考える】	4 3 2 1
	2. 「附小お笑いフェスタ」本番やそれに向かう練習では、友だちの良いところをたくさん見つけて伝えることができた。【人と考える】	4 3 2 1
	3. 学習のふりかえりや作文では、活動から考えたことや自分の成長をくわしく書くことができた。【最後までやりぬく】	4 3 1
創造する力	4. 「笑い文化」を通じて、人との仲が深めることができた。	4
	5. 「落語・漫才・新喜劇」の中で、言葉や表現の仕方を面白くすることができた。	4 3 1
	6. 「落語・漫才・新喜劇」の中で、自分らしさを表現することができた。	4 3 2 1
	7. 「笑い文化」の良さに気づき、生活の中で活かすことができそう。	4 3 2 1



自己評価

フィードバック面談

CT (コーディネートタイム)

プロジェクト学習

(45 or 90分間)

CT (15分間)

潜在的な学びの明示化
(個別最適な学び)



- **自己理解 / 他者理解**
- **探究活動の自己調整**
- **学習保証**

研究の背景

社会的な要請 (実用的な学び)

主権者教育 人権教育
キャリア教育 国際理解教育
防災教育 健康教育 ICT教育

+

各教科の学習
(学問的な学び)

「概念ベース」で 学習内容を統合・横断



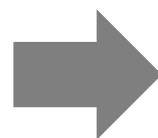
未来探究科
(実用的で学問的な学び)



従来の学習



学問
(既存の学習内容)



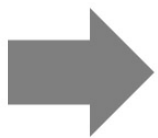
教材研究



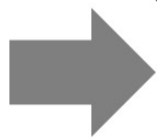
未来探究科



本質的な問い



子どもの思い



教材研究



学問
(学習内容を創る)



「本質的な問い」の設定



幸福

誰もが幸福に生きるために

文化

生活を豊かにする文化の担い手として

地域

地域社会を豊かにするには

自然

自然とともに生きるには

概念の設定

誰もが幸福に生きるために

生活を豊かにする文化の担い手として

地域社会を豊かにするには

自然とともに生きるには

本質的な問い

中心概念

相互性

連携

有限性

持続

多様性

公平

(問いを解決する)
社会的に実用性のある概念

学習内容の設定

縦糸

各領域の系統

	民主主義	エネルギー循環	多文化	人権
6年	地方政治がどのようなシステムで成り立っているかを理解し、政治に関わり、人々の思いや願いを実現させるためにできることを考えて連携して行動する。	地球は、太陽の光を源とするエネルギーを供給・変換することで成り立っていることに気づき、地球環境の保全のために、エネルギーを効率よく使うための科学技術の発展や生活の工夫に着目して行動する。	多文化をその文化の背景や心のあり方なども含めた全体を多面・多角的に捉え、自らが実感した文化の意味や価値をいろいろな人に発信して生活に活かそうとする。	社会には様々な価値観を持つ人がいることに気づき、地域の多様な立場の人と互いに尊重して語り合ったり協働したりしながら、差別をなくす社会の実現に向けて行動する。
5年	産業	炭素循環	和食	平和
	地域の産業がどのようなシステムで成り立っているかを理解し、産業をつなげて、人々の思いや願いを実現させるためにできることを考えて連携して行動する。	地球上に多様な姿で存在する炭素が、地球上や生物の間で循環していることに気づき、生態や気候のバランスを保つために取り組んだり、生活をより良くするために活かしたりする。	和食（和食文化）をその文化の背景や心のあり方なども含めた全体を多面・多角的に捉え、自らが実感した文化の意味や価値をいろいろな人に発信して生活に活かそうとする。	社会には様々な立場の人がいることに気づき、互いに尊重しながら共に競ったり交流したりすることの意義を感じて行動できる。
4年	祭り	水循環	お笑い	仕事
	地域の祭りがどのような仕組みで維持・発展されているのかを理解し、地域の人々の思いや町の歴史を受け継ぎ発展させるために、できることを考えて行動する。	地球上に存在する水は、姿を変えながら地球全体を循環し、多様な生物やその環境に影響を与えていることに気づき、健全な水循環を維持するために行動する。	お笑い文化（地域の無形文化）を習得しようとする多様に広がっていくことに気づき、いろいろな人に発信して一緒に楽しむ。	社会の仕事や働く思いは多様であることに気づき、自分や他者の将来に向けて進んで考え行動する。
3年	安心	生態	名物	生活習慣
	地域の人々の生活を支える仕組みを理解し、地域の人々が安心して暮らせる生活環境をつくるために、できることを考えて行動する。	地球には、地域の環境によって多様な生物が関係し合って生きていることに気づき、それぞれの地域の環境を保全しようと行動する。	名物（地域の有形文化）を追求すること多様に広がっていくことに気づき、いろいろな人に発信して一緒に楽しむ。	一人一人に合った生活習慣があることに気づき、自分や地域の人の健康的な生活のためにできることを考えて行動する。
2年	町	つながる命	季節	役割
	町にある様々なものや人に役割があり、私たちの生活が支えられていることに気づく。	地球には、同じ種類でも多様な個体差がある生物が子孫を残すことで命をつなぐことに気づき、1つ1つの命を尊重して次の世代につなぐとする。	季節を多様な方法で表現して楽しむことができることに気づき、いろいろな人たちと一緒に楽しむ。	一人一人に居場所があって役割がある、かけがいのない存在であることに気づき、それぞれの居場所で自分の見出した役割を全うしようとする。
1年	学校	生き物	遊び	個性
	学校にある様々なものに役割があり、私たちの学校生活が支えられていることに気づく。	地球には、多様な種類の生物が存在することに気づき、多様な生物を知って自分なりに関わる。	多様な遊びを経験したり遊びを工夫したりすることで楽しみが無限に広がることに気づき、親しい人たちと一緒に楽しむ。	自分や友だちにはそれぞれの個性があることを理解し、互いに認め合いながら、様々な人と親しくなる。

横糸

各教科との関連

A 領域の系統 **縦糸**



地域

地域社会を豊かにするには

相互性

地域社会は『人・もの・こと』の3要素で構成され、これらが相互に関わり合って成立する社会システムの中で、流動的に結びつくことで豊かになる。

連携

多様な人たちが互いに連携・協力することで構築・維持される。

縦糸

「人・もの・こと」が
それぞれの役割があって つながっている

1年「学校」

2年「町」

生活を支える仕組みがあってつながっている

3年「安心」

4年「祭り」

大きなシステムで流動的につながっている

5年「産業」

6年「民主主義」

横糸

自治
公共
伝統
産業
経済
政治

地域社会の相互性・連携

B 領域の系統 **縦糸**



自然とともに生きるには

有限性

循環する資源を有効活用し、全ての生命が
存続するための条件やバランスを保つ。

持続

自然環境を守りながら科学技術を発展させる。

生命の有限性

資源の循環性

存在

分類

個体差

子孫

種の多様性

1年「生き物」

遺伝子の多様性

2年「つながる命」

生物同士の関係

生態系の多様性

3年「生態」

生態系の多様性

食物連鎖

5年「炭素循環」

物質循環

科学的性質の変化

物質循環

4年「水循環」

物質的な循環

移動・状態変化

代謝・発酵

エネルギー循環

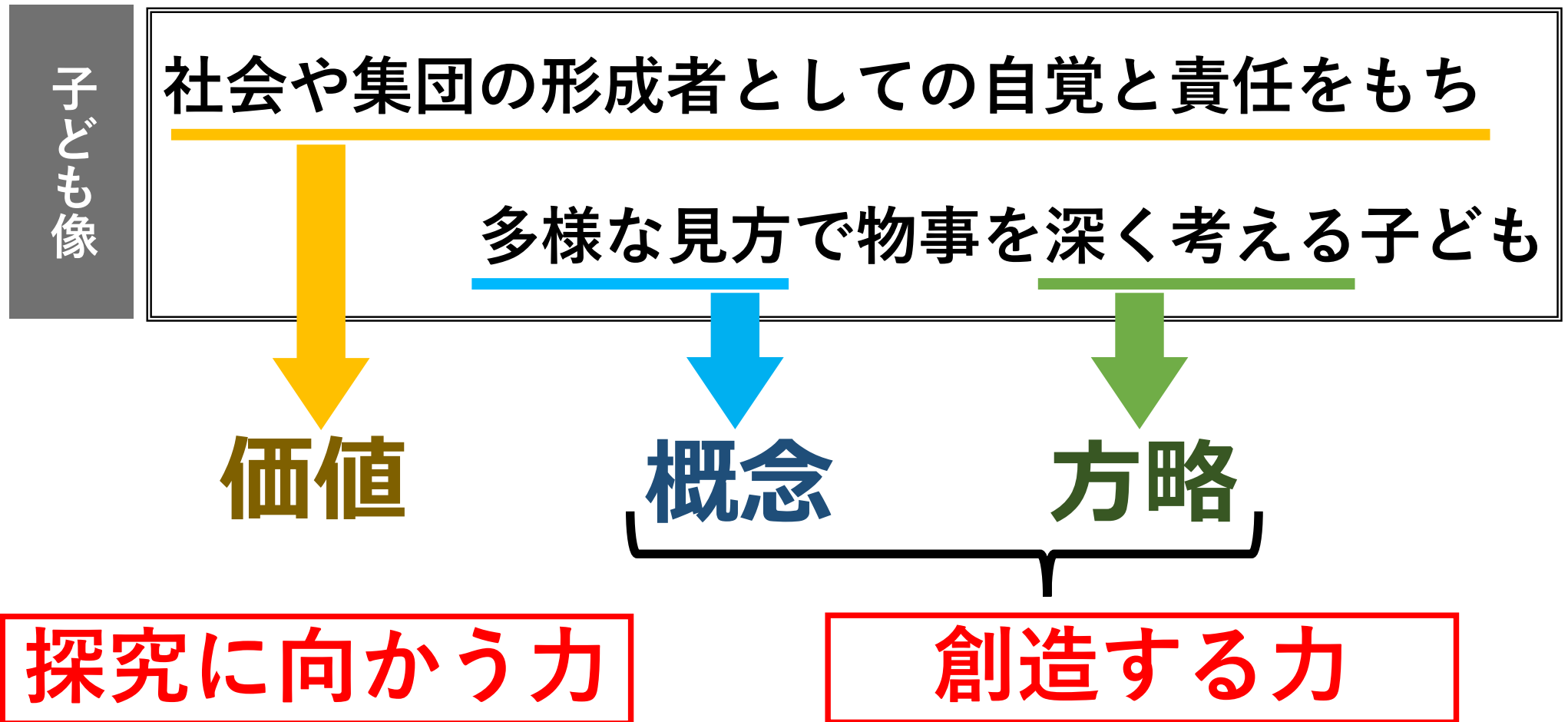
6年「エネルギー」

有限性

宇宙

変換

資質・能力の設定



「創造する力」

子ども像

多様な見方で 物事を深く考える姿

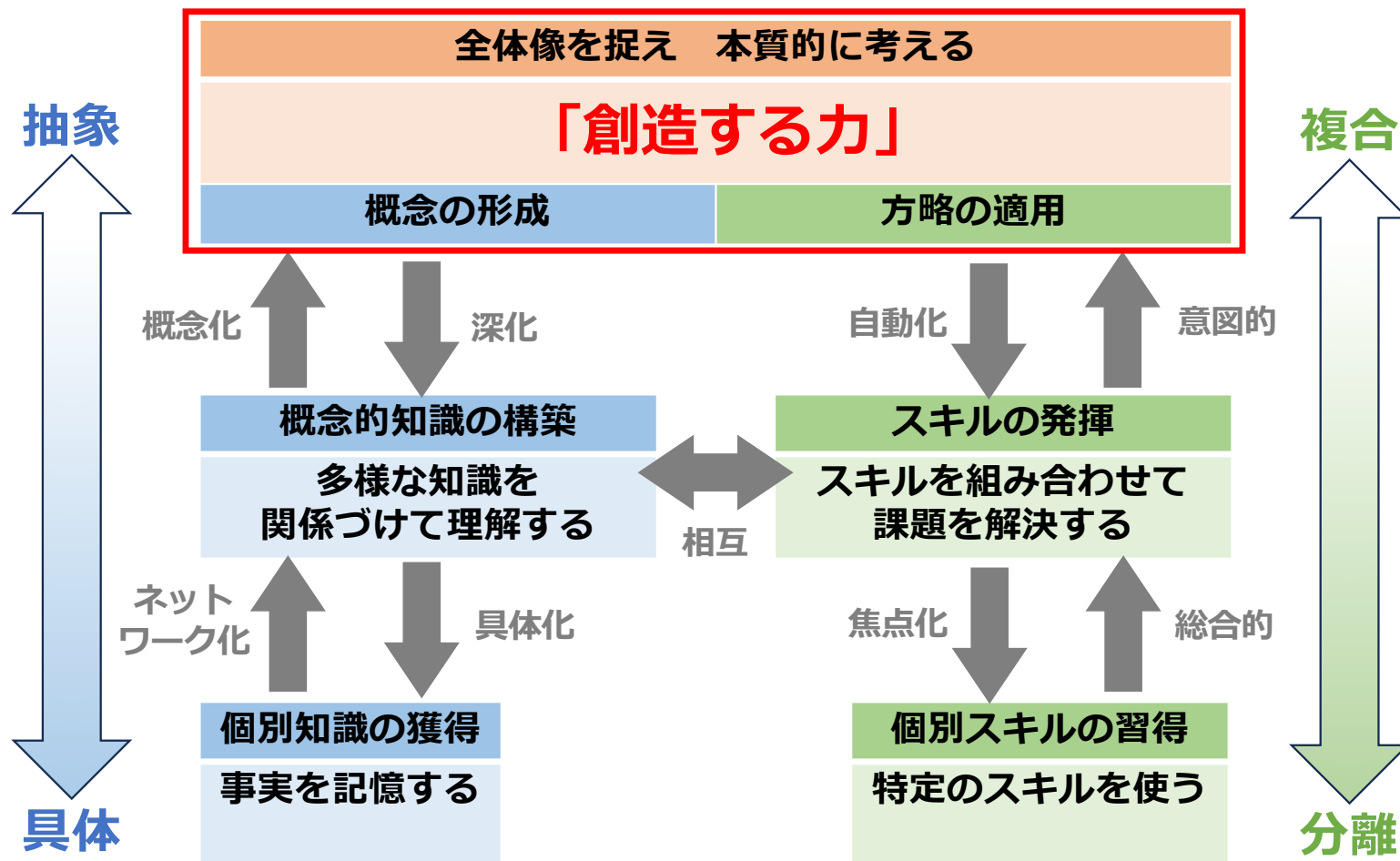
全体像を捉える
概念

知識

本質的に考える
方略

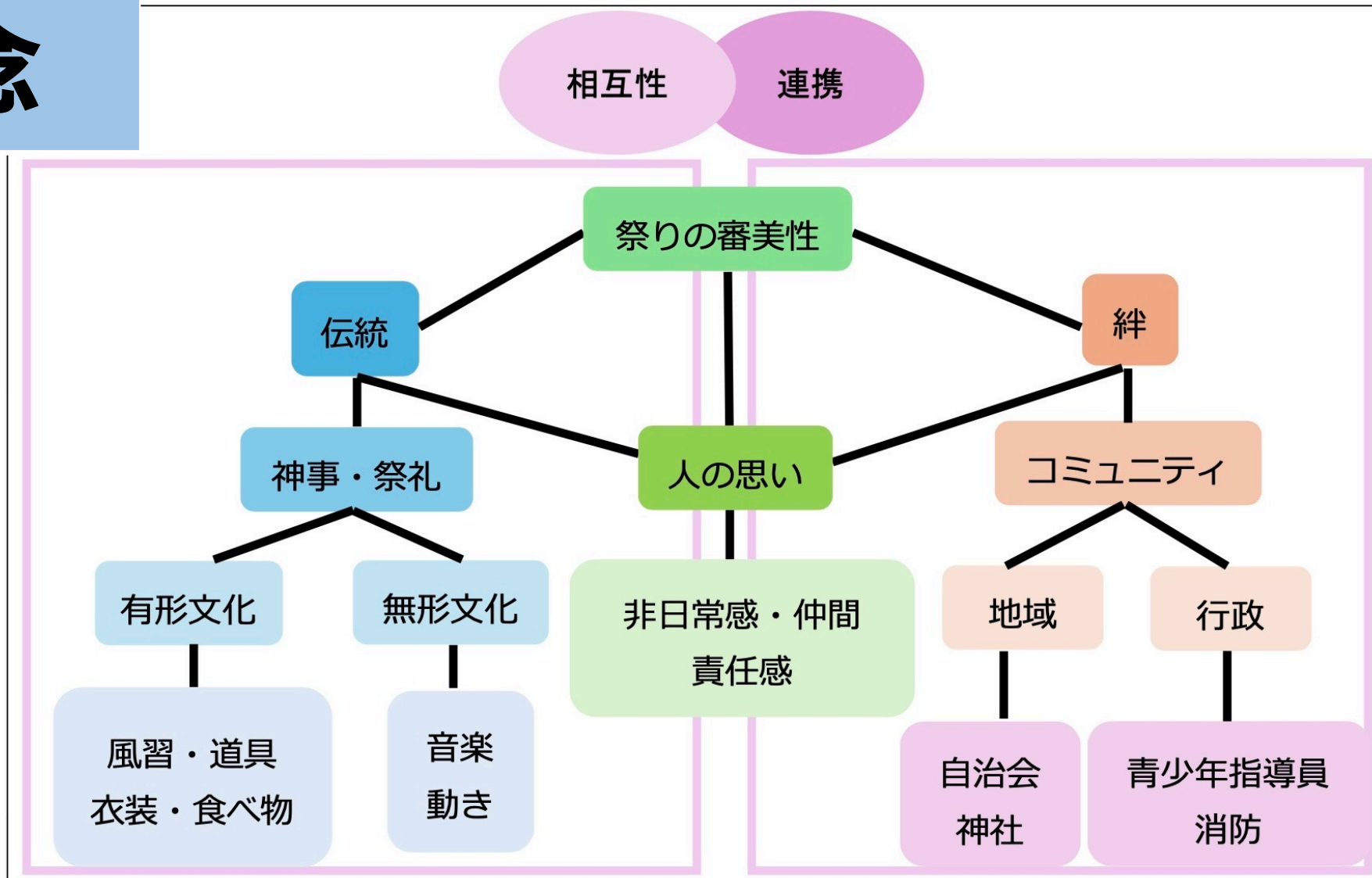
技能を含む
思考力・判断力・表現力

「創造する力」



概念

概念図



方略



概念形成（物事の理解）に至る一連の過程

一連の学習過程

物事をどのように捉えて本質的に理解しようとする

探究方略

一連の行動過程

個別知識を習得して活用する

理解方略

理解方略

主観的

過程(手続き)

客観的

表現的思考

哲学的思考

社会的思考

科学的思考

個別的・具体的

結果(ゴール)

一般的・抽象的

理想と現状のズレから集団の課題を見出し、解決策(納得解)を導き出す。

身の回りの事物や現象から疑問や予想を見出し、法則を導き出す。

理解方略

社会的

科学的

表現的

哲学的

言語
情報
統計

言語
再現
データ

言語
想像
体現

言語
省察
コミュニケーション

領域スキル

社会的思考

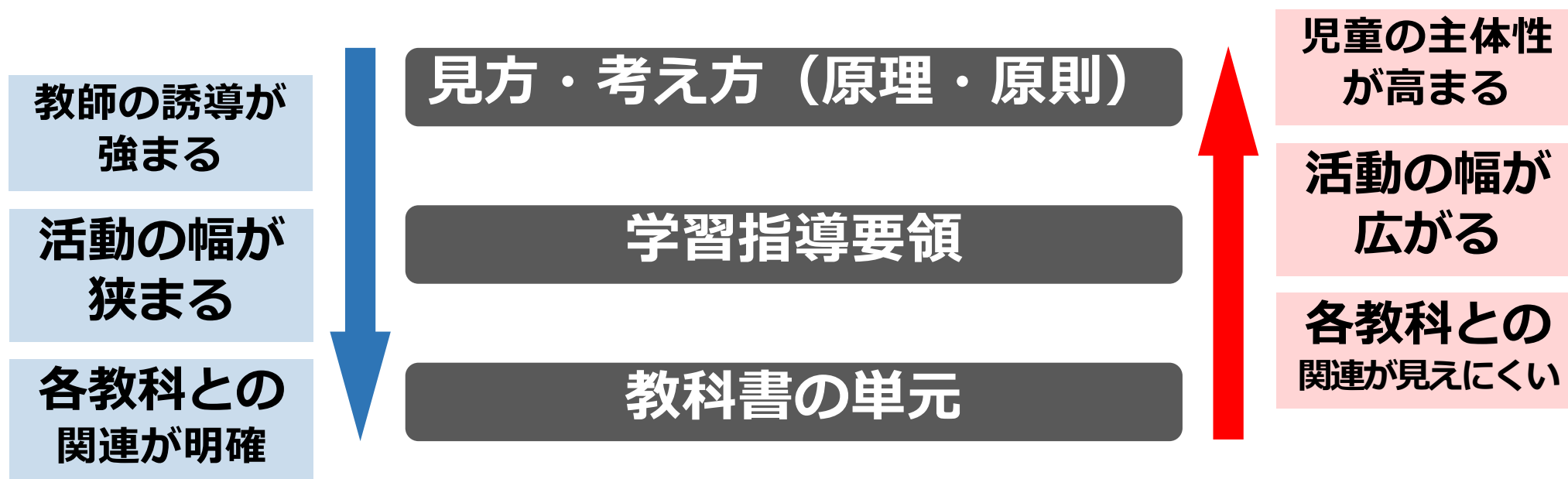
理想と現状のズレから集団の課題を見出し、解決策(納得解)を導き出す。

	言語		情報		統計	
低学年 【地図・絵】	A	自分の意見を順序立てたり、比較したりしながら伝えることができる。	A	必要な情報や関係する情報を書き留めて、目的に合わせて活用することができる。	A	自分なりにデータを集めて考えたり、表やグラフに表して伝えたりする。
	B	自分の意見をそう考えたわけと一緒に伝える。	B	必要な情報や関係する情報を書き留める。	B	データをもとに考えたり、表やグラフに表して伝えたりする。
中学年 【学級会】 【ポスター・新聞】 【写真】【地図】	A	理由や例を複数用いながら、構成を考えて自分の意見を分かりやすく伝える。	A	情報の特徴を捉え、目的に合わせて観点を決めたり複数の情報を組み合わせたりして活用する。	A	目的に合わせて評価指標を決定し、結果とその要因を定量的にも捉えて考察・表現する。
	B	調べた情報を整理し、自分の意見を理由や説明とともに伝える。	B	情報の特徴を捉え、目的に合わせて引用したり出典を示したりしながら活用する。	B	結果とその要因を定量的に捉えて考察・表現する。
高学年 【討論・評論文】 【プレゼンテーション】 【動画】	A	「主張」と事実や体験「根拠」をつなげたり、予想される反論を踏まえたりしながら伝える。	A	目的に応じて、見通しを持って（計画的・仮説的に）情報を集めたりまとめたりしながら、情報の特徴・傾向・変化を捉えて活用する。	A	目的に合わせて、データシートを作成したりデータのタイプに応じてまとめ方を考えたりしながらデータや統計資料を集計・分析・表現する。
	B	事実と意見とを区別しながら、自分の考えを伝える。	B	目的に応じて、情報の特徴・傾向・変化を捉えて活用する。	B	目的に合わせて、データや統計資料を自分なりに分析し、分かりやすく表現する。

課題

概念ベースの探究カリキュラム開発

各教科の資質・能力をどの水準で取り扱うのか



教師が作成する



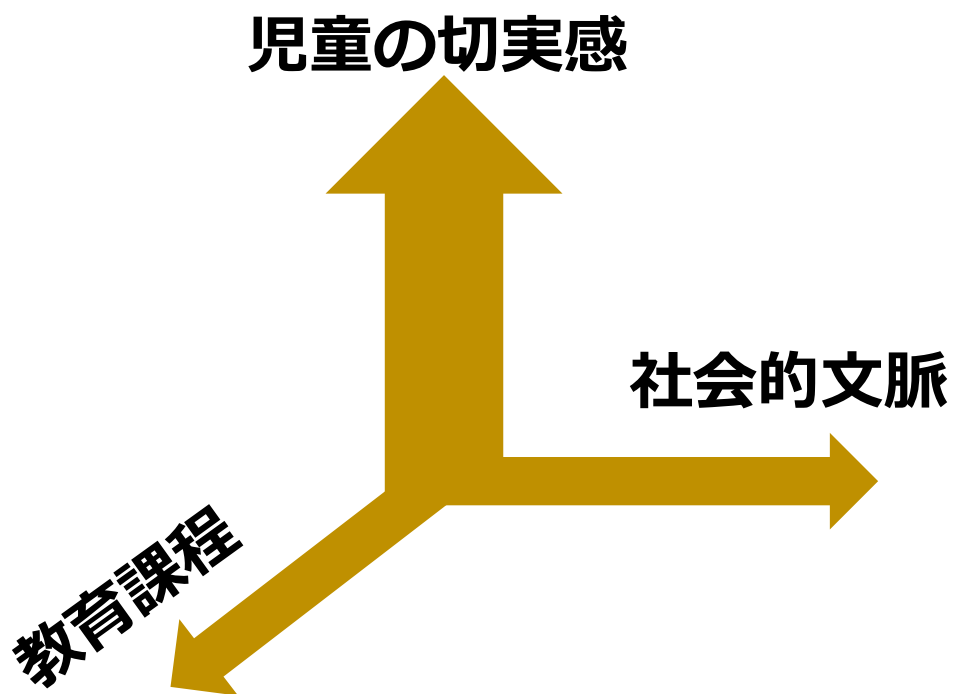
網羅型カリキュラム

子どもが作成する



個性的習得カリキュラム

子ども1人1人を見取りながら ダイナミックに学習を構想する必要がある



- 1 各教科の資質・能力を含む
(教育課程のダイナミックさ)
- 2 社会に開かれている
(社会的文脈のダイナミックさ)
- 3 児童に切実感がある
(学習活動のダイナミックさ)